

## 「第16回地球環境大賞」の授賞式について

～当社の地球環境保全への取り組みが高く評価され、「日本経済団体連合会 会長賞」を受賞～

当社(社長:西尾 進路)は、事業活動において実践している「地球環境の保全」への取り組みが高く評価され、フジサンケイグループが主催する地球環境大賞の「日本経済団体連合会 会長賞」を受賞いたしましたが、その表彰式が4月12日(木)、秋篠宮殿下・同妃殿下ご臨席のもと開催され、当社社長・西尾 進路が出席しましたので、お知らせいたします。

地球環境大賞は1992年、「産業の発展と地球環境との共生」を目指し、産業界を対象とする顕彰制度として、財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン、名誉総裁・秋篠宮殿下)の特別協力を得て、創設されました。持続可能な循環型社会の実現に寄与する製品・商品・サービス・技術などの開発、環境保全活動・事業の推進など、社会の模範となる功績を収めた企業・自治体・学校・市民グループなどを表彰しています。

この度の受賞は、「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDMプロジェクト」※1、全製油所での「ゼロエミッション」の達成※2、「環境ハイオクENEOS NEWヴィーゴ」をはじめとする「サルファーフリー(硫黄分10ppm以下)燃料」の製造・販売、未来のエネルギーと期待されている燃料電池システムの商品化※3などの事業活動が高く評価されたものです。

表彰式では、日本経済団体連合会・永松 恵一常務理事から当社社長・西尾 進路に賞状盾が授与されました。また、式典の冒頭、秋篠宮殿下より受賞者に対し、「現在の地球規模での温暖化を防止するために、受賞された皆様が今後も環境に対する取り組みを率先することをお願いしたい。」とのお言葉がありました。

※1 CO2を直接削減するプロジェクトとして世界最大級。原油生産に伴う随伴ガスを回収・有効利用するプロジェクトとして国連機関(CDM理事会)により、2006年2月、世界で初めて承認。

※2 石油業界で初めて達成。

※3 2005年3月、世界で初めてLPガス仕様1kW級家庭用燃料電池「ENEOS ECO LP-1」を商品化。2006年3月、世界で初めて灯油仕様1kW級家庭用燃料電池「ENEOS ECOBOY」を商品化。

## 記

### 1. 日時

2007年4月12日(木)13:20～14:00

### 2. 場所

明治記念館(東京都港区)

### 3. 当社出席者

代表取締役社長・西尾 進路

 <授賞式の様子: 前列右端が当社社長・西尾 進路>

<授賞式の様子: 前列右端が当社社長・西尾 進路>